

氏名	〇〇 〇〇	性別	男	生年月日	平成〇年〇月〇日	学年	3年
在籍学校	〇〇市立〇〇小学校	担任氏名	〇〇 〇〇	通級指導開始時期	平成〇年〇月～		
通級指導教室	〇〇サポートルーム (〇〇市立〇〇小学校)	担当指名	□□ □□	指導時間	週 1.0 単位時間 (実施曜日 水曜日)		
主訴・障害種等	注意欠陥多動性障害						

① 「障害の状態」「発達や経験の程度」「興味・関心」「学習や生活の中で見られる長所やよき、課題等」

- ・注意欠陥多動性障害があり、衝動性等により学級のルールを守るのが苦手である。
- ・学級のルール等について、内容は理解しているものの実際の場面になると、自分のしたいことを優先してしまうことが多い。
- ・教科学習の理解はよく習得も速いが、出し抜けに对应したり、友達に伝えたりしてしまう。また、テストでは回答欄を間違えるなどうっかりミスが多い。
- ・昆虫などの小動物が好きで、校庭で見つけると捕まえてくるが、突然友達の前目に突きつけて驚かせる。
- ・遊びやゲームなどをおもしろくする工夫やルールを提案することが得意だが、唐突にルールを変えようとする傾向がある。
- ・人や物にぶつかることが多いが、ぶつかったことに気付かないためにけんかになることがある。
- ・体を動かすことは好きだが、球技など道具を操作する活動が苦手で、ゲームの途中で投げ出してしまうことがある。
- ・約束やきまりを聞いて覚えるより、必要事項を紙面で見ながら説明を聞く方が理解しやすいようである。
- ・突発的な発言で友達を泣かせたことを指摘されてもなかなか謝ることができないことが多いが、落ち着いてから話す「泣かせたのはぼくが悪かったかもしれない」と言う。
- ・最近、失敗した後に「なぜ、うまくいかないんだろう」と失敗した自分を責めるような場面が見られる。
- ・1枚のプリントに数多くの問題があるとすぐに投げだそうとするが、細かく切って提示すると最後まで解くことができた。
- ・役割を与えられたり、取組を認められたりすると熱心に活動する。

<記入のポイント>

- 学習指導要領解説「自立活動編」に示されている、実態把握の観点・具体的な内容・方法等を踏まえて、具体的に記述します。
- できないことばかりに注目するのではなく、できることにも着目します。

② 自立活動の区分に即した整理

健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
	・前向きで活動的であるが、最近、少しできない自分を責めるような発言が見られる。 ・穏やかに話しかけると興奮することが少ない。	・他者のために役に立ちたい、他者と関わりたいという気持ちは強い。 ・落ち着いていれば相手の心情を理解できるが、その前に行動してしまう。	・聞くより見るの方が理解しやすい。	・人や物にぶつかる、道具を使用することが苦手など、意識的に身体操作することに困難がある。	・相手の立場を意識することが難しく、自分の興味・関心を優先してしまう。

<記入のポイント>

- ①に記述したことを、自立活動の6つの区分で整理します。
- 自立活動の区分で整理することで、課題を焦点化し、実態に即した自立活動の計画を立てることができます。

③ 「抽出された中心課題」と「支援の方向性」

- ・自分の行動がどのような影響を及ぼすのかを想像したり、周囲の人の表情や口調等から読み取ったりして、適切に判断して行動することやルールを守ることが難しい。【心、人、環】
- ・ルールを知っていても、よくないと気付いたときにすぐに謝罪することが難しい。【人、コ】

■課題と自立活動の項目とを関連づけておくことで指導に結び付けやすくなります。

○落ち着いた状況であれば、相手の表情や口調等から適切な判断ができることが多い。取り組みを認められると熱心に活動できることから、衝動的な言動をコントロールできたときにすぐ褒めることにより、徐々に自分の言動をコントロールできるようになることが期待できる。現段階では、落ち着いた場面では適切な行動ができる場面が多く見られるが、少しずつ自信や意欲をなくしかけている場面も見られる。個別指導や小集団場面で、望ましい行動をとった場面や望ましくない行動をとらなかった場面で、指導者が本人の意欲が高まる方法で適切に評価することがまずは大切である。
○視覚的な情報からルールを守ることの大切さを知るとともに、ルールを守ったり衝動的な言動を減らしたりすることで楽しい活動ができる経験を多く積む。また、自分の身体をコントロールすることで気持ちを安定させる方法を学ぶなどして、衝動的な言動を自分でコントロールする力を高める。

<記入のポイント>

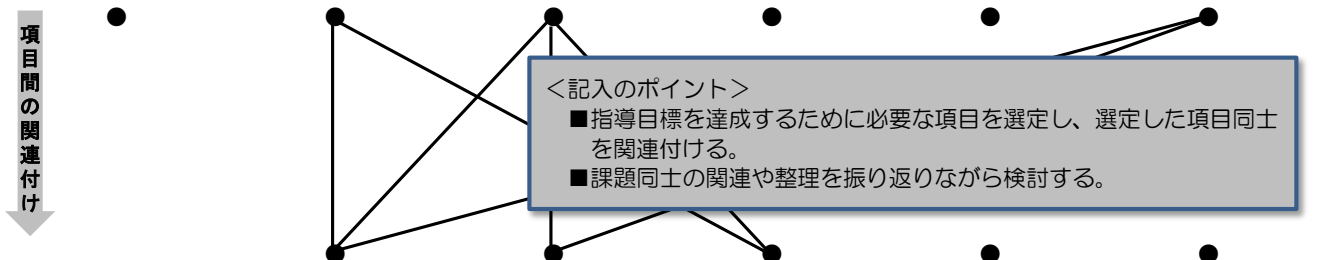
- 優先度、緊急度の高い課題について記述します。
- 支援の方向性として、本人のもてる力を高めるという視点からも記述するようにします。

記入者	□□ □□
記入年月日	平成〇年〇月〇日

氏名	〇〇 〇〇	性別	男	生年月日	平成〇年〇月〇日	学年	3年
----	-------	----	---	------	----------	----	----

<p>④ 自立活動の指導目標</p> <p>・通級による指導の場において、成功体験を実感することのできる学習環境の中で、衝動的な言動をコントロールしながら望ましいコミュニケーションや円滑な集団参加ができる。</p>	<p><記入のポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・③に記入した課題に基づき、指導目標（ねらい）を記入します。
---	---

⑤ 指導目標(ねらい)を達成するために必要な項目選定					
健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
<input type="checkbox"/> (1)生活のリズムや生活習慣の形成に関すること	<input type="checkbox"/> (1)情緒の安定に関すること。	<input type="checkbox"/> (1)他者とのかかわりの基礎に関すること。	<input type="checkbox"/> (1)保有する感覚の活用に関すること。	<input type="checkbox"/> (1)姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること。	<input type="checkbox"/> (1)コミュニケーションの基礎的能力に関すること。
<input type="checkbox"/> (2)病気の状態の理解と生活管理に関すること。	<input type="checkbox"/> (2)状況の理解と変化への対応に関すること。	<input checked="" type="checkbox"/> (2)他者の意図や感情の理解に関すること。	<input type="checkbox"/> (2)感覚や認知の特性についての理解と対応に関すること。	<input type="checkbox"/> (2)姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用に関すること。	<input type="checkbox"/> (2)言語の受容と表出に関すること。
<input type="checkbox"/> (3)身体各部の状態の理解と養護に関すること。	<input checked="" type="checkbox"/> (3)障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること。	<input checked="" type="checkbox"/> (3)自己の理解と行動の調整に関すること。	<input type="checkbox"/> (3)感覚の補助及び代わりの活用に関すること。	<input type="checkbox"/> (3)日常生活に必要な基本動作に関すること。	<input type="checkbox"/> (3)言語の形成と活用に関すること。
<input type="checkbox"/> (4)障害の特性の理解と生活環境の調整に関すること。		<input type="checkbox"/> (4)集団への参加の基礎に関すること。	<input checked="" type="checkbox"/> (4)感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関すること。	<input type="checkbox"/> (4)身体の移動能力に関すること。	<input type="checkbox"/> (4)コミュニケーション手段の選択と活用に関すること。
<input type="checkbox"/> (5)健康状態の維持・改善に関すること。			<input type="checkbox"/> (5)認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること。	<input type="checkbox"/> (5)作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること。	<input checked="" type="checkbox"/> (5)状況に応じたコミュニケーションに関すること。



⑥ 具体的な指導内容	ア	イ	ウ		
選定した項目を関連付け設定した具体的な指導内容	・小集団において、ルールを守ることや負けたときの対応方法などを身に付けるため、簡単なルールのあるゲーム等に取り組む。	・学校の中で起こる様々な場面をビデオや絵で見て、その場面を、登場人物の気持ちを考えながら演じたりビデオ撮影等で自分の言動を客観的に見たりしながら適切な行動を、その理由と共に話し合う中で理解する。	・気持ちを安定させるために、身体を自分で適切にコントロールできるようになる。		
評価		<p><記入のポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ■指導目標の達成のために必要な項目を段階的に取り上げるようにする。 ■学習指導要領解説「自立活動編」に示されている、「具体的な指導内容の設定」を踏まえて検討する。 			

記入者	〇〇 〇〇	評価者	
記入年月日	平成〇年〇月〇日	評価年月日	

氏名	〇〇 〇〇	性別	男	生年月日	平成〇年〇月〇日	学年	3年
----	-------	----	---	------	----------	----	----

<p>④ 自立活動の指導目標</p> <p>・通級による指導の場において、成功体験を実感することのできる学習環境の中で、衝動的な言動をコントロールしながら望ましいコミュニケーションや円滑な集団参加ができる。</p>																	
<p>⑥ 具体的な指導内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ア</th> <th>イ</th> <th>ウ</th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>選定した項目に関連付け設定した具体的な指導内容</p> <p>・小集団において、ルールを守ることや負けたときの対応方法などを身に付けるため、簡単なルールのあるゲーム等に取り組む。</p> </td> <td> <p>・学校の中でおこる様々な場面をビデオや絵で見て、その場面を、登場人物の気持ちを考えながら演じたりビデオ撮影等で自分の言動を客観的に見たりしながら適切な行動を、その理由と共に話し合う中で理解する。</p> </td> <td> <p>・気持ちを安定させるために、身体を自分で適切にコントロールできるようになる。</p> </td> <td>0</td> <td></td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>						ア	イ	ウ				<p>選定した項目に関連付け設定した具体的な指導内容</p> <p>・小集団において、ルールを守ることや負けたときの対応方法などを身に付けるため、簡単なルールのあるゲーム等に取り組む。</p>	<p>・学校の中でおこる様々な場面をビデオや絵で見て、その場面を、登場人物の気持ちを考えながら演じたりビデオ撮影等で自分の言動を客観的に見たりしながら適切な行動を、その理由と共に話し合う中で理解する。</p>	<p>・気持ちを安定させるために、身体を自分で適切にコントロールできるようになる。</p>	0		0
ア	イ	ウ															
<p>選定した項目に関連付け設定した具体的な指導内容</p> <p>・小集団において、ルールを守ることや負けたときの対応方法などを身に付けるため、簡単なルールのあるゲーム等に取り組む。</p>	<p>・学校の中でおこる様々な場面をビデオや絵で見て、その場面を、登場人物の気持ちを考えながら演じたりビデオ撮影等で自分の言動を客観的に見たりしながら適切な行動を、その理由と共に話し合う中で理解する。</p>	<p>・気持ちを安定させるために、身体を自分で適切にコントロールできるようになる。</p>	0		0												

<p>⑦ 基本的な配慮・支援の内容(全教科で共通すること、学校生活で共通した配慮や支援の内容)</p>			
実態	目標(望ましい姿)	具体的な手立て	評価
<p>・一斉指導の際に出し抜けにゆえたり、友達に伝えたりすることがある。</p>	<p>・話を聞く際のルールを意識して守ることができる。 ・思いついたことや考えたことをメモに書き留める習慣をつける。</p>	<p>・視覚的な情報を提示しながらルールを意識できるようにする。 ・衝動的な言動をコントロールできたり、ルールを守れている場面ですぐに褒めるようにする。</p>	

<p>⑧ 教科での配慮・支援内容(特に配慮・支援を必要とする教科について)</p>					
教科等	単元	実態	目標	手立て	評価
理科	水の流れ	<p>・実験の際に順番を守ることが難しいときがある。</p>	<p>・順番を守って、実験に参加することができる。</p>	<p>・事前に1番に実験をしなくても必ずできることを確認する。 ・実験に入る前に、実験の順番カードで順番を決めておく。</p>	
図工	よく見てかこう	<p>・手順等を守って取り組むことが難しいときがある。</p>	<p>・手順に沿って取り組み、作品を完成できる。</p>	<p>・手順を視覚的にわかりやすく提示する。 ・手元に手順表を置いて確認できるようにする。</p>	
<p><記入のポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ■「実態把握シート」の「支援の方向性」、自立活動の目標や、指導内容を踏まえ、本人の持てる力を高めるという視点からも記述するようにします。 ■本人が自己理解を進めながら、うまくいく方法を見つけられるように支援します。 					

記入者	〇〇 〇〇	評価者	
記入年月日	平成〇年〇月〇日	評価年月日	